

平成26年度教育研究活動報告書

氏名	藤井佐美	所属	芸術文化学部日本文学科
学位	博士（文学）	職位	准教授
専門分野	伝承文学・民俗学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学部	民話研究 民俗学1 民俗学2 伝承文学専門演習a 伝承文学専門演習b 瀬戸内文化論 卒業論文（構想・準備） 卒業論文（制作）		
大学院	地域文学特論 研究指導（論文指導）		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
（1）〈単著書〉『真言系唱導説話の研究---付・翻刻 仁和寺所蔵『真言宗打聞集』』（日本学術振興会科学研究費助成図書、三弥井書店、平成20年）			
（2）〈共著書〉行遍口傳『参語集』覚書（『唱導文学研究』第6集所収、三弥井書店、平成20年）			
（3）〈共著書〉内閣文庫蔵『金玉要集』六度集経説話の背景（『唱導文学研究』第5集所収、三弥井書店、平成19年）			
（4）〈論文〉亀の教え---民間説話「人魚と津波」の視座より---（『尾道大学日本文学論叢』第2号所収、平成18年、査読有）			
（5）〈論文〉「人魚と津波」の伝承世界---南島の「物言う魚」をめぐる---（『奄美沖縄民間文芸学』第6号所収、平成18年、査読有）			
本年度を含む過去3年間の研究業績			
（1）〈論文〉民話に関する大学生の意識調査 - 尾道市立大学「民話研究」のアンケート結果を中心に -（『尾道文学談話会会報』第5号所収、平成26年）			
（2）〈論文〉尾道市久山田町の伝承文化 2 - 平成二十六年・鉦太鼓踊りの調査研究 -（『尾道文学談話会会報』第5号所収、平成26年）			
（3）〈論文〉真福寺蔵『説経才学抄』布施の唱導説話---演変をめぐる注解---（『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第13号所収、平成26年3月）			
（4）〈論文〉尾道市久山田町の伝承文化1---平成二十三~二十四年度の調査研究---（『尾道市立大学地域総合センター叢書』第7号所収、平成26年3月）			
（5）〈論文〉〈調査報告〉出雲國の伝承をたどる---平成二十五年度研究活動より---（『尾道文学談話会会報』第4号所収、平成25年12月）			
（6）〈共著書〉莊嚴唱導と法会の場---『説経才学抄』の供具説話---（中世文学と隣接諸学シリーズ8『中世の寺社縁起と参詣』所収、竹林舎、平成25年）			
（7）〈論文〉『説経才学抄』の莊嚴説話---幡・宝蓋・花鬘を中心に---（『立命館文学』630号所収、平成25年）			
（8）〈論文〉『説経才学抄』堂舎の説話---建立から修理へ---（『伝承文学研究』第61号所収、平成24年、査読有）			
（9）〈論文〉石垣島の御嶽と説話---四箇の伝承事例を中心に---（『説話・伝承学』第20号所収、平成24年、査読有）			
（10）〈論文〉尾道市因島中庄町の秋祭を歩く---平成二十三年度の神事より---（『尾道文学談話会会報』第3号所収、平成24年）			
（11）〈論文〉南島説話と祭祀の変容---神女・真乙姥をめぐる伝承---（『尾道市立大学日本文学論叢』第8号所収、平成24年、査読有）			
現在の研究テーマ（3つまで）			
（1）説草と唱導の場			
（2）民話と祭祀伝承			
（3）地域の伝承文化			
研究テーマの進捗状況	（1）研究発表と論文執筆を順次おこない、伝承文学注釈叢書シリーズ刊行に向けて執筆編集中である。（2）共同による継続調査から『琉球の伝承文化を歩く』シリーズ刊行に向けて準備を進めている。（3）徐々に調査地を広げて、地域の伝承文化をめぐるフィールドワークと文献調査を進めている。		
学会、所属団体における活動（本年度を含む過去3年間の研究業績）			
所属学会・所属団体 役職等			
日本民俗学会、奄美沖縄民間文芸学会（運営委員）、説話・伝承学会、説話文学学会、仏教文学学会、日本仏教総合研究学会、日本宗教文化史学会、日本昔話学会、日本口承文芸学会、中世文学学会、中古文学学会、西行学会、日本文芸学会、伝承文学研究会、唱導研究会、立命館大学日本文学会（評議員）、尾道市立大学日本文学会（編集委員）、尾道市立大学伝承文化研究会（代表）			